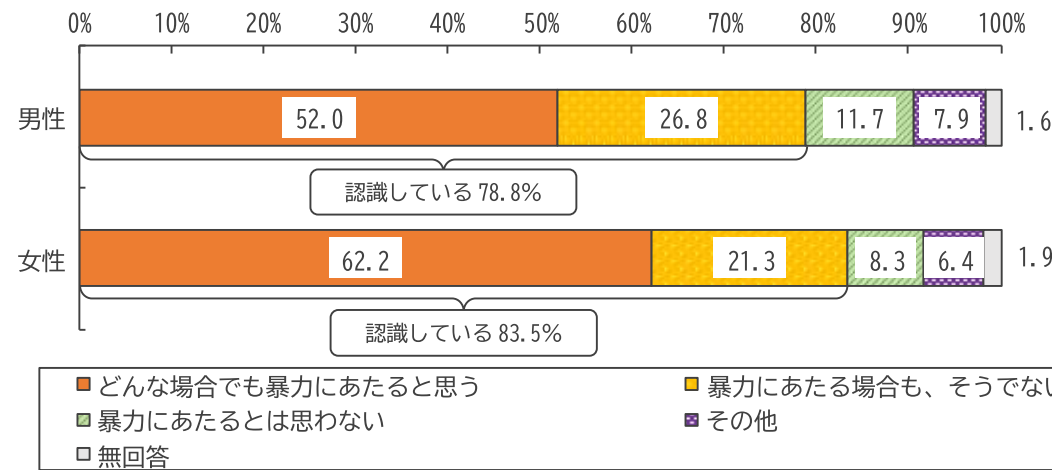


／知ってほしい／ 自分を守る、自分で決める

Q. 「他の異性との会話を許さない」という行為は暴力に当たると思いますか？



DVには、身体的暴力だけでなく、精神的暴力も含まれることへの認知が広がっています。



◆DVは、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、決して許されない行為です。
お互いを尊重し、対等な関係を築いていくことが大切です。

ドメスティック・バイオレンス（DV）

配偶者・パートナーからの身体的・性的・精神的・経済的な暴力のこと。単に殴る蹴る等の身体的暴力だけでなく、威嚇、無視、行動の制限など心理的な苦痛を与えることも含まれます。

デートDV

デートDVとは、交際中の恋人同士の間で起こる暴力のことです。女性の約5人に1人、男性の約9人に1人が被害を受けたことがあるという調査結果もあります。



リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（SRHR）

リプロダクティブ・ヘルスは、性や出産に関わる全てにおいて、身体的・精神的・社会的に本人の意思が尊重され、自分らしく生きられること。リプロダクティブ・ライツは、自分の体に関することを自分自身で決められる権利のこと。

信頼できる情報にアクセスしよう！

性や生殖に関する正しい知識は、性暴力やデートDVなどの被害の防止や、妊娠・出産を含め、生涯にわたる健康につながります。



DV相談窓口一覧

ひとりで抱えずに相談してください。



あざれあナビ

県内の男女共同参画の情報発信をしています。



男女共同参画白書

県内の男女共同参画に関するデータをまとめて紹介しています。



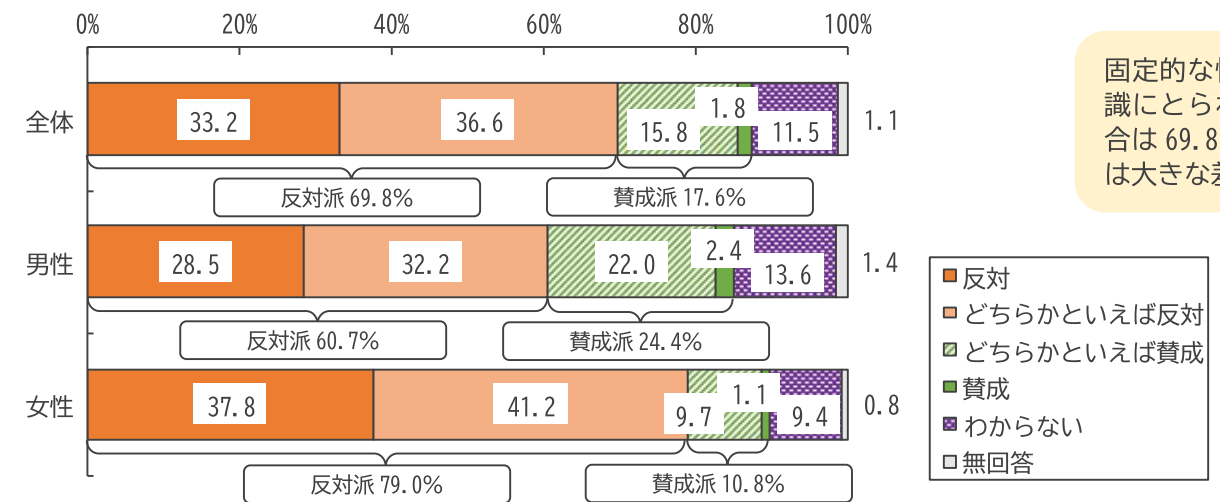
令和8年3月発行
静岡県 暮らし・環境部
県民生活局 男女共同参画課

／データから見る／ 静岡県の男女共同参画



「男女共同参画」とは、性別に関係なく、職場、学校、家庭、地域など社会のあらゆる分野で個性と能力を十分に発揮し、共に責任を担うことです。静岡県の男女共同参画に関する意識や実態について、統計データから見てみましょう。

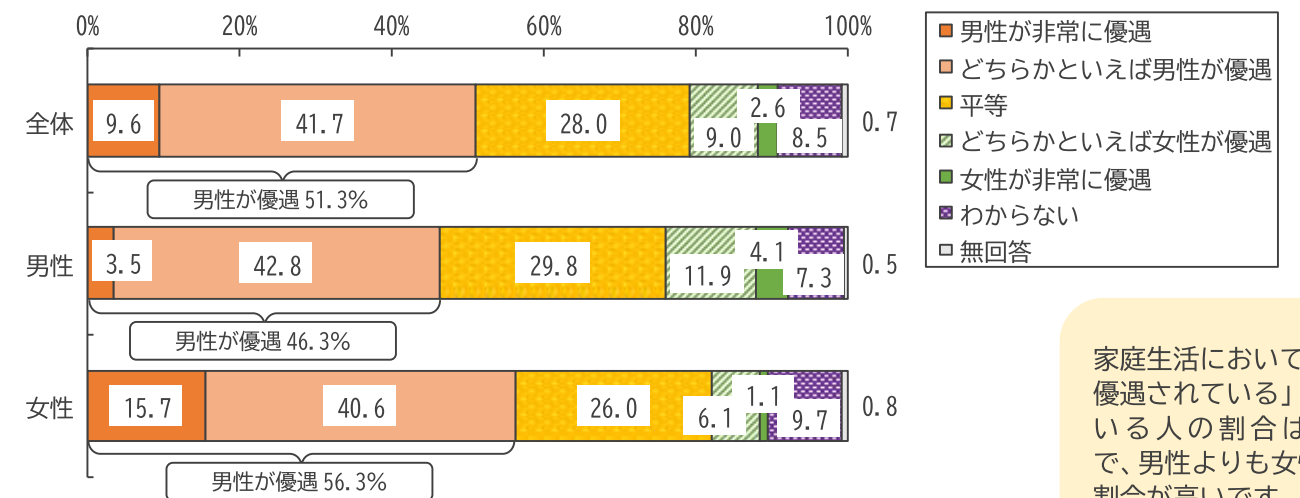
Q. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについて、どのように思いますか？



固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合は69.8%で、男女間では大きな差があります。



Q. 「家庭生活」において男女が平等だと思いますか？



家庭生活において「男性が優遇されている」と感じている人の割合は51.3%で、男性よりも女性の方が割合が高いです。



ジェンダー

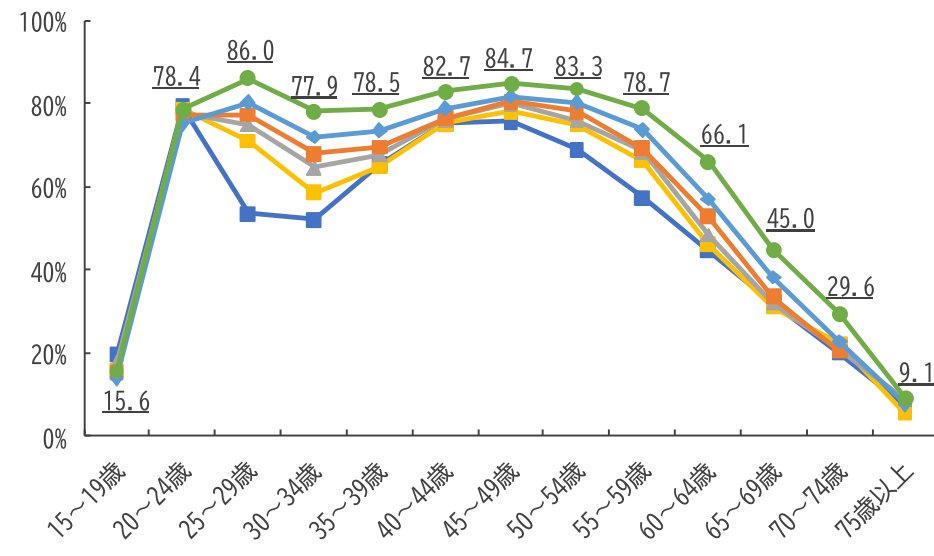
社会的・文化的に形成された性のこと。社会通念や慣習の中にある、社会によって作り上げられた男女の性差のこと。

（ジェンダーの例）

- ・性別役割分担/Gender Role：社会的に期待される男性と女性の役割分担のこと
- ・性表現/Gender Expression：服装、言葉遣いや立ち振る舞いなどにおいて表現される「男らしさ」「女らしさ」のこと

ジェンダー平等の推進による誰もが幸せを実感できる社会の実現に向けて

女性の年齢階級別労働力の推移



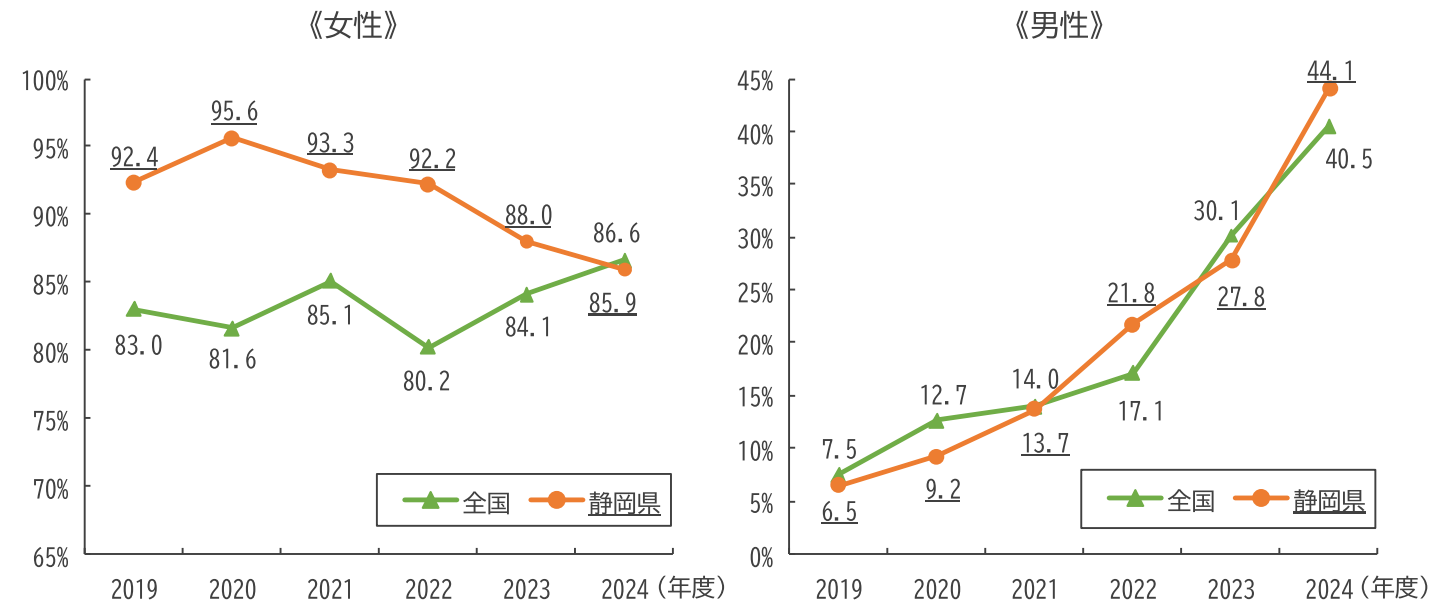
女性の労働力率は、子育て期の30歳代前半で低下するM字カーブを描いています。近年、仕事を継続する女性が増え、改善傾向にあります。

check!



資料：国勢調査（2020）

男性の育児休業取得率の推移



資料：「静岡県雇用管理状況調査」、厚生労働省「雇用均等基本調査」（2024）

◆男性の育児参加の促進は、育児に参加したい男性のワーク・ライフ・バランスの実現だけでなく、配偶者の女性の就業継続への影響という点でも重要です。

男性の育休取得率は上昇傾向にありますが、依然として女性の取得率とは大きな差があります。

check!

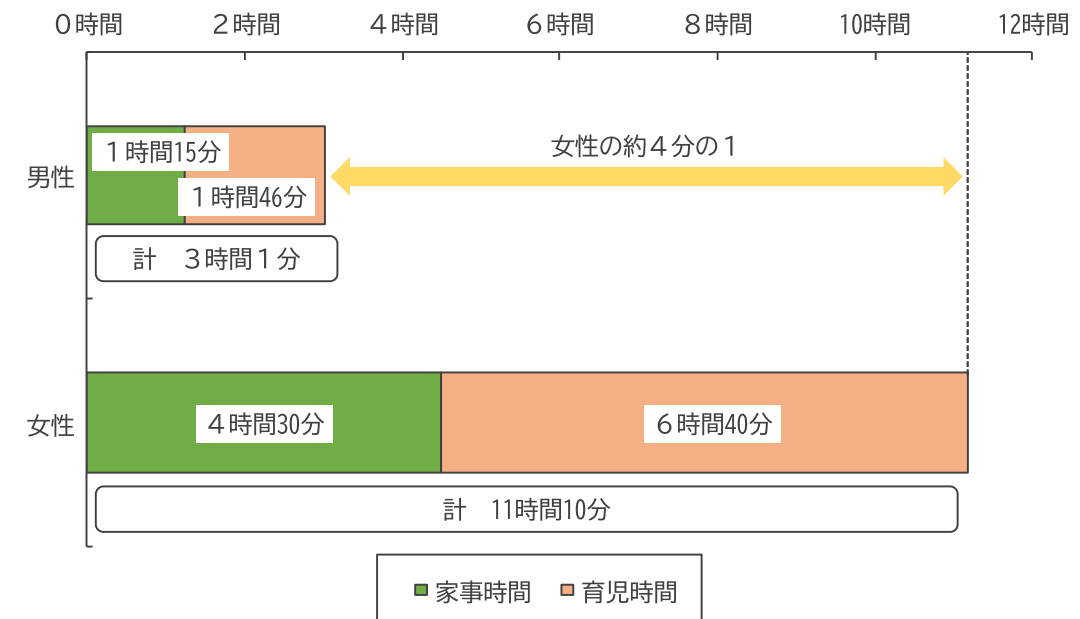


男性の育休取得を促進

産後パパ育休（出生時育児休業）

- ・子の出生後8週間以内に4週間まで、2回に分割して育休を取得することが可能。
- ・産後パパ育休中に一度就業することも可能。

男性の家事・育児関連時間



男性の家事・育児時間は、女性の約4分の1です。固定的な性別役割分担意識に反対する人は増えても、行動変容には結びついていないのが現状です。

check!



資料：「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査」（2024）

共家事スタートブック

夫婦・家族が共に家事をする「共家事」で、笑顔とゆとりのある暮らしをしてみませんか？



アンコンシャス・バイアス

自分自身では気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」のこと。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあることは認識していないため「無意識の偏見」と呼ばれます。

～性別役割分担に関する調査結果～

性別役割について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

男性 上位5項目（単位：％）			女性 上位5項目（単位：％）		
1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	48.7	1	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	44.9
2	女性には女性らしい特徴があるものだ	45.7	2	女性には女性らしい特徴があるものだ	43.1
3	女性は感情的になりやすい	35.3	3	女性は感情的になりやすい	37.0
4	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	34.0	4	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.2
5	女性はいか弱い存在なので、守らなければならない	33.8	5	女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	27.2

資料：内閣府「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査」（2022）

◆性別に対して持っているアンコンシャス・バイアスに気づき、性別や属性にとらわれることなく、全ての人が自分の個性や能力を十分発揮することができる社会を目指していきましょう。

